

議会の窓

～ 諏訪広域連合の業務～

「広域連合」は、広域的な事業や町単独で行うことが難しい行政サービスの一部を、他市町村と共同で行うことを目的として設置される組織で、諏訪広域連合は諏訪6市町村が参加しています。

諏訪広域連合の大きな事業は、介護保険事業と消防事業です。介護保険は、介護保険法に基づいて、介護認定・介護保険料の設定・介護給付事業などを行っています。なお、窓口は各市町村に設置されています。

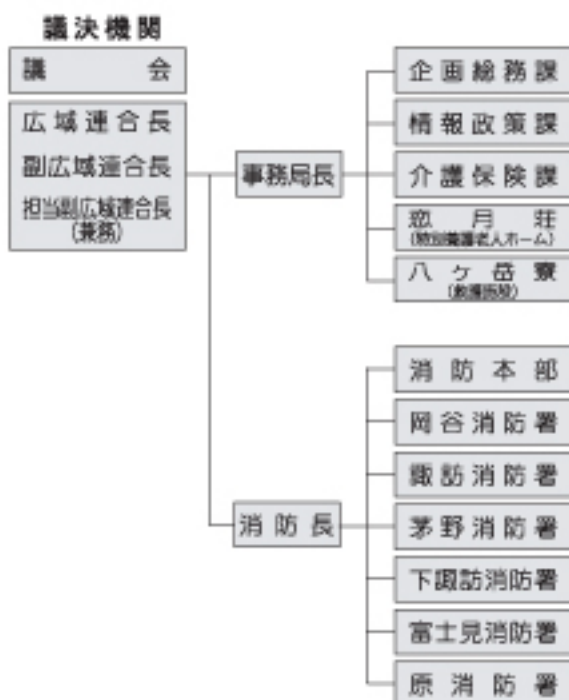
消防は、大規模災害に素早く広域的な対応ができる体制を整備しています。また、救急業務の高度化等消防需要に応じた広域体制づくりを進め、地域住民の生命と安全を守っています。

また特別養護老人ホーム「恋月荘」、救護施設「八ヶ岳寮」を運営し、3年前には「小児夜間救急センター」を設置しました。

その他、諏訪広域にかかるとして、「ふるさと市町村圏計画」「休日及び夜間の救急病院運営費補助事業」「ごみ処理広域計画」「市町村の電算処理の調整に関する事務」「広域的な課題の調査研究」などの他、諏訪圏内で必要とされる広域的な事務を行っています。

諏訪広域連合には議会があり、富士見町議会からは2名派遣しています。

諏訪広域連合機構図



～表紙の写真から～

Head(頭)・Heart(心)・Hands(手)・Health(健康)の4つの頭文字から名付けた『4Hクラブ』は、より良い農業を目指していこうという青年農業者のグループです。

メンバーはそれぞれ、野菜・花き(カーネーション・菊)・イチゴ・花苗等を栽培しており、年に数回イベントに参加したり、定期的に会合を開き、情報交換を行っています。

今後も新規就農者や世代交代の若手生産者に入会していただき、富士見町の農業を盛り上げていきたいと思っております。

■議会広報編集委員会
編集委員長 エンジェル千代子
副委員長 織田 昭雄
委員 小名 織
池取 武
一夫 一雄

最近一部の自治体で、長と議会の関係を巡ってなにかと話題になりましたが、今回は全国地方議会の議会改革について触れてみたいと思います。

通年議会という言葉をお聞きになったことがあるかと思いますが、一年中いつでも議長の開議宣言で本会議を開くことができるというものです。

マスコミ報道によると、鹿児島県のA市では、市議会が市長に臨時議会の招集を請求しても応じず、補正予算・人事案件まで専断処分しており、県知事の「助言」も聞き入れない状況のようです。

こうしたことに対し、通年議会になっていけば重要な案件・緊急を要する案件も議会で審議できます。また、一年中議会の会期中ということになりますから、土曜日や日曜日、夜間にも一般質問や審議ができ、細切れに審議日数や時間を確保することができます。こうした議会改革の動きに、当町議会も乗り遅れないよう取り組んでいきたいと思っております。(織田昭雄)

編集後記